

教科（科目）	社会と情報	単位数	2	学年（系）	4 学年
使用教科書	高校社会と情報＜新訂版＞（実教出版）				
副教材等	高校社会と情報学習ノート新訂版（実教出版）				

1 学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導の重点

情報化社会が進展していく中で、社会と健全な関わりを持てるような力を育てる

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	備考
4 5	1 章 情報社会	教科書、副教材	・ 情報と情報社会 ・ 社会の変化と個人の責任 ・ 情報社会の問題 ・ メディアとその特徴 ・ メディアと広告 ・ メディアの選択 ・ 個人情報とその保護	12	
6 7	2 章 コミュニケーション	教科書、副教材	・ コミュニケーション ・ メールの利用 ・ ネットワーク ・ 共通の取り決め ・ インターネットの仕組み ・ Web ページの閲覧とメールの仕組み ・ インターネットのサービス ・ 合意形成 ・ クラウドコンピューティング	14	
9 10	3 章 情報安全	教科書、副教材	・ 個人による安全対策 ・ 組織による安全対策 ・ 安全のための情報技術 ・ 暗号化 ・ 法規による安全対策 ・ 知的財産権の概要と産業財産権 ・ 著作権 ・ 著作権の利用	14	
11 12	4 章 デジタル化	教科書、副教材	・ デジタル情報の特徴 ・ 静止画像の扱い ・ 数値や文字の表し方 ・ 音声のデジタル化 ・ 色のデジタル表現 ・ 画像のデジタル化 ・ 圧縮の仕組み ・ さまざまな計算	14	
1 2 3	5 章 問題解決	教科書、副教材	・ 問題を解決するには ・ 情報の収集 ・ 情報の整理と管理	16	

- ・分析のための工夫
- ・関数と統計
- ・表とグラフの活用
- ・分析の実際
- ・問題解決の実践
- ・プレゼンテーションの方法
- ・Web ページによる情報発信

計70時間（48分授業）

4 課題・提出物等

副教材の学習ノートを定期的に課題として課します。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・表現・判断	資料技能の活用	知識・理解	評価規準
情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	<評定> 各観点の合計点達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、定期考査、提出物などから総合的に評価する。				

6 担当者からの一言

自分の考えや意見をまとめて、それについて周りとは対話する授業を行います。